

【Remudy ニュースレター第 131 号】

配信日：2019 年 3 月 14 日

本日はプレスリリースに関するご案内です。

— * — * — * — * — * — * — * —

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター（NCNP、東京都小平市：水澤英洋理事長）神経研究所遺伝子疾患治療研究部(和田圭司 研究所所長/部長兼任)の滝澤歩武研究員、青木吉嗣室長らは、難病のデュシェンヌ型筋ジストロフィー(DMD)患者さんの尿に含まれる細胞を使って、無侵襲で、かつ効率的にエクソン・スキップ治療の効果を検証するダイレクト・リプログラミング方法を確立しました。

NCNP 神経研究所と病院小児神経科の共同研究として、AMED などの支援によって行われたもので、研究成果は日本時間 2019 年 3 月 7 日午後 7 時（報道解禁日時：英国時間 3 月 7 日午前 10 時）に『Scientific Reports』オンライン版に掲載されました。

詳しくは国立精神・神経医療研究センター

プレスリリースをご参照ください

(2019.03.06)

→ <https://www.ncnp.go.jp/press/release.html?no=447>

— * — * — * — * — * — * — * —

上記リンクは外部のため、急に閲覧できなくなる場合がございます。ご注意ください。